

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
<p>熊本県地域公共交通協議会</p> <p>【地域公共交通協働トライアル推進事業】</p>	<p>【事業内容】</p> <p>(1)「県全体の幹線公共交通ネットワークの提示」に必要な情報の把握・整理</p> <p>(2)「コミュニティ交通の充実に向けたロードマップの提示」に必要な情報の把握・整理</p> <p>(3)地域公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <p>(4)協議会開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>(1)生活機能施設の集積状況や公共交通の乗降者数等を基にした”拠点”の設定、鉄軌道・バス路線等を骨格とする”幹線公共交通ネットワーク”の設定により、本県における幹線公共交通ネットワークの考え方を示した。</p> <p>(2)市町村アンケート結果等を基に、コミュニティ交通施策に係る課題・隘路を把握し、それを基にした施策の方向性を定め、コミュニティ交通の充実に向けた指針を示した。</p> <p>(3)(1)、(2)を踏まえ、計画(案)をとりまとめた。</p> <p>(4)地域ブロック部会を8回(2回×4地域)、本体協議会を2回開催し、関係者との合意形成を行った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>本県の地域公共交通は、「県民の移動ニーズの変化・多様化」、「移動ニーズに対応する輸送資源のひっ迫」という対立する2つの現状に直面しており、その中で各地域の実情に応じた公共交通網を維持・確保していくことが課題。そのためには、「限られた輸送資源を総動員して、公共交通サービスの効果を最大化する」ことが必要であり、この認識を県、市町村、交通事業者等の関係者が共有し、適切な役割分担の下、取組を進めていくため、計画の基本的な方針及び目標を次のとおり定め、その達成に向けた施策・事業を実施する。</p> <p>【計画の基本的な方針】</p> <p>社会動態の変容によって絶え間なく変化・多様化する県民の移動ニーズを満たす、地域公共交通施策の展開～公共交通の持つ効果の最大化に向けた輸送資源の総動員～</p> <p>【計画の目標】</p> <p>(1)持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築</p> <p>(2)輸送資源の総動員によるコミュニティ交通の充実</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。特に、広域計画として幹線交通を位置づけたことは評価できます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された熊本県内における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町村協議会と連携し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>なお、今後の協議会の開催に当たっては、コロナ禍の影響を踏まえ、対面とオンライン会議を組み合わせるなど、丁寧な合意形成を図るための開催方法の工夫の検討も期待します。</p>	

<p>大分県地域公共交通活性化協議会</p> <p>【地域公共交通協働トライアル推進事業】</p>	<p>【計画策定調査事業の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象地域の公共交通の全体像の整理 ○バス路線の利用状況調査 ○沿線住民意向調査 ○幹線バス路線を中心とした対象地域の公共交通全体の将来像の検討 ○将来像による対象地域への影響分析 ○地域公共交通網形成計画案の作成 ○協議会の運営 <p>【調査事業の結果概要】</p> <p>住民アンケート調査、高校生アンケート調査、乗降調査から、各バス事業者が運行する地域間幹線システムを中心とした各システムの時間帯や平日・土日祝日の利用状況の違い、運行区間、利用者の年齢層などによる利用頻度の違いが把握できた。</p> <p>これらの調査結果を踏まえ、関係市町村、事業者と協議を行うことにより、「まちづくり政策」、「観光政策」、「教育政策」などの視点から、市町村や事業者等と連携して公共交通網の見直し案を検討した。</p>	<p>A</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、会議の開催回数は事業計画段階から減少。(協議会:△1回、分科会:△1回)</p> <p>その中でも、感染症対策を講じたうえで少人数による検討会や電話、メールでのやりとり等で連絡、調整を行い、住民アンケート調査、高校生アンケート調査、乗降調査を実施し、事業は適切に実施された。</p> <p>策定予定の地域公共交通計画を元に、引き続き、市町村や事業者等との協議、検討を重ね、計画に沿った地域公共交通網の実現に努めたい。</p>	<p>R3.1月末～2月初旬開催予定の協議会において、素案を審議</p> <p>【基本方針1】</p> <p>だれもが安心して生活できる移動環境の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村との連携により、県民や来訪者のだれもが公共交通によって行きたいところに行ける公共交通ネットワークを構築するとともに、人口減少・高齢化社会においても地域に安心して生活できる環境を創造し、県内各地への定住推進を図る。また、高齢者の外出を促進し、健康的な地域社会の維持を図る。 <p>【基本方針2】</p> <p>効率的で持続可能な都市圏の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷あいの複数の軸に分散した集落や半島の沿岸部に点在する地域拠点等の分散的な都市構造に対し、まちづくり・観光・教育政策との連動のもと、公共交通利用の推進を図ることにより、拠点を結ぶ軸を強化し、効率的で持続可能な都市圏の構築を目指す。 <p>【基本方針3】</p> <p>交流促進による地域活力の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者でも利用しやすい公共交通環境を構築し、観光やビジネス等での公共交通利用の推進を図る。また、地方創生に向けた取り組みと連携して地域へのヒト・モノ・カネの流入を促進し、地域活力の維持・向上を図る。 	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。特に、広域計画として幹線交通を位置づけたことは評価できますが、一方で、実施事業については具体的化が求められると考えます。特に、本計画では、「検討」でとどまっている取組や実施主体が曖昧な取組も散見され、今後計画を推進するに当たり、一層の進展が望まれます。</p> <p>今回の調査で整理された大分県西部圏における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町村協議会と連携し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>なお、今後の協議会の開催に当たっては、コロナ禍の影響を踏まえ、対面とオンライン会議を組み合わせるなど、丁寧な合意形成を図るための開催方法の工夫の検討も期待します。</p>	
---	--	----------	---	---	---	--

<p>筑後市地域公共交通活性化協議会</p>	<p>【事業内容】 ・地域内の公共交通に関する状況調査・把握 ・地域住民のニーズ調査 ・地域内の公共交通に関する課題整理 ・地域公共交通計画(案)作成 【結果概要】 ・市民アンケート調査・OD調査を実施し、事業者ヒアリングの結果、利用状況のデータや既存統計資料も併せて現況整理を行った。 ・上記調査結果等に基づき、総合的かつ持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理すると共に、公共交通の活性化・再生に向けた取り組みの方向性を検討した。 ・以上の内容を踏まえ、筑後市地域公共交通計画(案)を作成。</p>	<p>A</p>	<p>当初の計画どおりに事業は適切に実施された。</p>	<p>【筑後市地域公共交通計画作成調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に検討した筑後市地域公共交通計画(案)における目標、施策を踏まえ実現化するための調査を実施 令和3年度半ばまでに筑後市地域公共交通計画(案)に係るパブリックコメントを実施 令和3年度中に筑後市地域公共交通計画を策定 <p>【基本方針】</p> <p>I：持続的な公共交通網の維持に向けた利用促進 II：校区・行政区単位の地域コミュニティの活力の維持・向上に向けた移動の促進 III：多様なモードが相互に連携した公共交通網の構築</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された筑後市における公共交通の現状や課題を踏まえ、新幹線、鉄道、路線バス、コミュニティ自動車等の多様なモードが相互に連携した公共交通網の構築がなされることを期待します。 また、地域公共交通計画の実行に当たっては、「第六次筑後市総合計画」等の上位計画を踏まえた長期的な視点や観光客(来訪者)の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 なお、今後の協議会の開催に当たっては、コロナ禍の影響を踏まえ、対面とオンライン会議を組み合わせるなど、丁寧な合意形成を図るための開催方法の工夫も検討も期待します。</p>																									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>スケジュール</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 筑後市域の公共交通に関する現状調査・把握</td> <td colspan="4">←</td> </tr> <tr> <td>2. 地域住民のニーズ調査</td> <td colspan="4">←</td> </tr> <tr> <td>3. 筑後市域の公共交通に関する課題整理</td> <td colspan="4">←</td> </tr> <tr> <td>4. 筑後市公共交通計画(案)作成</td> <td colspan="4">←</td> </tr> <tr> <td>5. 協議会の開催</td> <td colspan="4">←</td> </tr> </tbody> </table>			スケジュール	4月	5月	12月	1月	1. 筑後市域の公共交通に関する現状調査・把握	←				2. 地域住民のニーズ調査	←				3. 筑後市域の公共交通に関する課題整理	←				4. 筑後市公共交通計画(案)作成	←			
スケジュール	4月	5月	12月	1月																										
1. 筑後市域の公共交通に関する現状調査・把握	←																													
2. 地域住民のニーズ調査	←																													
3. 筑後市域の公共交通に関する課題整理	←																													
4. 筑後市公共交通計画(案)作成	←																													
5. 協議会の開催	←																													

<p>福智町地域公共交通会議</p>	<p>◇利用実態及びニーズ把握調査 福智町の町内巡回バス利用に関する利用実態・要望等の把握を目的に調査員による直接乗り込み調査を実施。 ◇交通事業者ヒアリング調査 福智町で公共交通機関を提供している交通事業者等(鉄道、バス、タクシー)へ直接ヒアリングを実施し、意見や要望等の整理を行った。 ◇地域の公共交通計画(案)のとりまとめ調査結果をもとに、上位計画での地域公共交通の位置づけを踏まえながら、地域公共交通のあるべき姿を検討し、「福智町地域公共交通計画素案」の整理を行う。 ◇地域公共交通会議を開催 福智町地域公共交通会議4回実施(内書面協議3回)。今後は2回開催予定。</p>	<p>A</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成する見込み</p>	<p>【補助対象事業名】 福智町地域公共交通計画策定支援業務 【事業内容】 ①地域概況の整理 ②上位関連計画等の整理 ③公共交通の現状整理 ④公共交通冊子の作成 ⑤町内巡回バス利用実態調査の実施 ⑥事業者ヒアリングの実施 ⑦地域公共交通の課題の整理 ⑧計画の基本方針・目標の検討 ⑨目標の実現のための施策の検討 ⑩計画素案の作成 ⑪パブリックコメント実施支援 ⑫地域公共交通会議の運営支援 ⑬幹事会の運営支援 ⑭報告書とりまとめ ⑮打合せ協議 【実施期間】 令和2年9月1日～令和3年3月31日 【計画策定に向けた方針】 ・本計画では、町の最上位となる総合計画の考え方をふまえ、町民が「住みたい」「住み続けたい」と感じられるまちづくり施策の一環として、公共交通サービスの改善、各種取り組みの推進を図る。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された福智町における公共交通の現状や課題を踏まえ、鉄道、路線バス、福祉バス等の多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。特に、福祉バスの有償化やデマンド運行の導入については、住民の意向を踏まえつつ、適切な検討がなされることを期待します。 また、地域公共交通計画の実行に当たっては、町の最上位となる総合計画等を踏まえた長期的な視点や観光客(来訪者)の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 なお、今後の協議会の開催に当たっては、コロナ禍の影響を踏まえ、対面とオンライン会議を組み合わせるなど、丁寧な合意形成を図るための開催方法の工夫も検討も期待します。</p>	
--------------------	--	----------	--------------------------------	---	--	--

<p>八代市地域公共交通会議</p>	<p>当初の計画に沿って令和2年10月に計画策定を行うことができた。また、改正された地域公共交通活性化再生法に適するように計画の策定を行ったことから事業は適切に実施されたと考えられる。</p>	<p>A</p>	<p>当初の計画に沿って令和2年10月に計画策定を行うことができた。また、改正された地域公共交通活性化再生法に適するように計画の策定を行ったことから事業は適切に実施されたと考えられる。</p>	<p>公共交通のあり方や本市における公共交通の問題点・課題を踏まえて下記の目標を設定 ①市街地における地域公共交通サービスの利用増進を図る ②中山間地域における日常生活を支える公共交通サービスを確保する ③変化するニーズに応じて適宜、公共交通サービスの適正化を図る ④鉄道・路線バス・乗合タクシー等の円滑な乗り継ぎを確保し、市内外の移動利便性を高める ⑤新技術の積極的な導入によって利便性を高める ⑥市民、事業者、行政が一体となって取り組む体制を強化する ⑦新型コロナウイルス感染症の影響を受けた公共交通事業の回復を図る ⑧令和2年7月豪雨で被害を受けた坂本町の復興に応じた公共交通サービスの提供</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。なお、本計画は令和2年9月中の策定となったことから、今後、必要に応じて同年12月に施行された活性化再生法の改正を踏まえた内容の反映をお願いします。 今回の調査で整理された八代市における公共交通の現状や課題を踏まえ、鉄道や路線バス、乗合タクシー、乗用タクシー等の多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。また、地域公共交通計画の実行に当たっては、上位計画である「八代市重点戦略」等を踏まえた長期的な視点や観光客（来訪者）の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策を着実に実施されることも期待します。 なお、今後の協議会の開催に当たっては、コロナ禍の影響を踏まえ、対面とオンライン会議を組み合わせるなど、丁寧な合意形成を図るための開催方法の工夫も検討も期待します。</p>	
--------------------	--	----------	--	--	---	--

<p>益城町地域公共交通会議</p>	<p>○事業内容 ①住民アンケート調査 ②計画(案)のとりまとめ ③協議会開催 ○アンケート調査について ・アンケート調査期間: R2.10.15~26 ・回収状況: 1,606票/3,352票(回収率47.9%) ○調査から明らかになった問題点 1.高齢者の移動サービスの不足 2.津森地区、福田地区、飯野地区から市街地までの公共交通サービスの不足 3.市街地内の公共交通での移動の自由度が低い 4.公的施設までの公共交通サービスが不十分 5.利用が低迷するバス路線の持続可能性の懸念 6.乗合タクシーの低い普及率 7.利用環境の不足・サービスの周知不足</p>	<p>A</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>○補助対象事業名 益城町地域公共交通計画策定事業 ○事業内容 住民アンケート調査、計画(案)のとりまとめ、協議会開催 ○実施時期 令和2年6月~令和3年3月 ○計画策定の方針 調査から明らかになった「移動需要と公共交通サービスの対応面での問題点」「公共交通の持続可能性、利用環境等に関する問題点」を踏まえつつ、平成28年熊本地震からの復興に向けた都市計画事業やにぎわいづくりなど「まちづくりから求められる機能」を考慮したものとする。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 書面協議と併用しつつもコロナ禍の中、8回もの協議会開催を行い、丁寧な合意形成を図られたことを評価します。今後、復興段階の進捗に応じ、実施施策の具体化等に取り組まれることを望みます。 今回の調査で整理された益城町の課題を踏まえ、上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客(来訪者)の視点も考慮しつつ、居住地と都市拠点・地域拠点、さらには、熊本市をはじめとする周辺地域とを結ぶ利便性の高い交通サービスの構築が着実に実施されることを期待します。</p>	
--------------------	--	----------	-----------------------------------	--	--	--